

令和3年1月定例

伊達市教育委員会 会議録

令和3年1月13日開催

令和3年1月定例伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時 令和3年1月13日(水) 13時30分～
2. 開催場所 伊達市役所東棟3階 庁議室
3. 出席者 教育長 菅野 善昌
1番 高野 保夫 委員(教育長職務代理者)
2番 菅野 千恵子 委員
3番 三品 清重郎 委員
4番 関根 勝富 委員
4. 欠席委員
5. 説明のため出席した者
教育部長 田中 清美
教育総務課長
(兼学校給食センター所長) 土田 一紀
教育総務課主幹(教育施設担当) 佐藤 真
生涯学習課長 森林 敏昭
学校教育課長 熊澤 正人
こども部長 橘内 重康
こども支援課長 寺田 和也
こども育成課長 桃井 秀孝
6. 本委員会書記
教育総務課総務企画係長 富田 昭子
教育総務課総務企画係主事 大橋 勝

7. 日程1 開会

○菅野教育長 令和3年1月定例伊達市教育委員会会議を開会します。本日は全員出席していますので会議が成立しています。また、開会時刻は13時29分です。

8. 日程2 会期の決定

○菅野教育長

会期決定についてお諮りします。会期は、本日13日にしたいと思います。異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

○菅野教育長 異議なしと認め、会期は本日13日と決定します

9. 日程3 議事録署名委員の指名

○菅野教育長 議事録署名委員の指名に移ります。本日の議事録署名は、1番高野委員と2番菅野委員にお願いします。また令和2年12月定例会の会議録は三品委員と関根委員に署名いただいていることを報告します。

10. 日程4 会議の進め方

○菅野教育長 本日の会議の進め方について、土田教育総務課長から説明願います。

○土田教育総務課長 会議次第により説明

1 議事

議案第1号 伊達市奨学資金貸付審査会委員の委嘱について

議案第2号 令和2年度伊達市教職員表彰及び児童生徒教育振興表彰について

議案第3号 令和3年度伊達市学校給食費について

2 協議

3 報告

11. 日程5 傍聴の許可

○菅野教育長 傍聴希望の方はいますか。

○富田総務企画係長 いません。

12. 日程6 議事

○菅野教育長 「議案第1号 伊達市奨学資金貸付審査会委員の委嘱について」教育総務課長から説明をお願いします。

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 議案第1号について、委員の質疑をお願いします。

なければ質疑なしと認め、質疑を終結します。
これより採決に入ります。本案は原案のとおり決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

異議なしと認め、「議案第1号 伊達市奨学資金貸付審査会委員の委嘱について」原案のとおり可決されました。

次に「議案第2号 令和2年度伊達市教職員表彰及び児童生徒教育振興表彰にいて」学校教育課長から説明をお願いします。

○熊澤学校教育課長 資料により説明

○菅野教育長 議案第2号について、委員の質疑をお願いします。

なければ質疑なしと認め、質疑を終結します。
これより採決に入ります。本案は原案のとおり決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

異議なしと認め、「議案第2号 令和2年度伊達市教職員表彰及び児童生徒教育振興表彰にいて」原案のとおり可決されました。

次に「議案第3号 令和3年度伊達市学校給食費について」学校給食センター所長から説明をお願いします。

○土田学校給食センター所長 資料により説明

○菅野教育長 議案第3号について、委員の質疑をお願いします。

○高野委員 仮に1食10円の値上げになった場合、各家庭の1年間の負担はどの程度になるのか。

○土田学校給食センター所長 幼稚園は年間約150食と想定すると家庭負担は約1,500円、小中学校は年間約200食と想定すると家庭負担は約2,000円となる。

他になければ質疑なしと認め、質疑を終結します。
これより採決に入ります。本案は原案のとおり決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

異議なしと認め、「議案第3号 令和3年度伊達市学校給食費について」原案のとおり可決されました。

13. 日程7 協議

○菅野教育長 協議に移ります。本日は、協議内容をいただいております。

委員の皆様から協議について提案はありますか。

なければ続きまして、報告に移ります。

14. 日程8 報告

令和2年度 1月定例教育委員会会議 教育長報告資料

1 学校の適正規模・適正配置事業

(1) 霊山地域の適正規模・適正配置に向けて [教育総務課]

- 令和2年12月17日(木) 掛田小、大石小、小国小、石田小、
霊山中の各校長及びPTA代表者との
合同懇談会

○土田教育総務課長 昨年10月から11月にかけて各学校において①適正規模・適正配置について②霊山の新しい教育について③スクールコミュニティについて④学校の統合についての説明を行った。各学校のPTAに対してアンケート調査を行った結果を集約し、合同懇談会で情報を共有した。

今後大石小学校は3月で閉校し、4月から掛田小学校に統合する。石田・小国小学校の統合についてはPTAから2月末を目途に意見を集約し、報告してもらう予定。その報告をもとに教育委員会において適正規模・適正配置の予定を検討していく。

2 各種行事

(1) 第3学期始業式：1月 8日(金)

(2) 伊達市成人式：1月10日(日) 新型コロナウイルス感染症まん延防止のため延期

(3) 立志式 [こども支援課]・会場分散、出席者縮小、時間短縮

①月舘学園中(22名)：令和3年1月28日(木) 10:25~11:15 [2学年教室]

②霊山中(48名)：令和3年1月28日(木) 11:35~12:25 [多目的ホール]

③松陽中(53名)：令和3年1月28日(木) 14:30~15:30 [体育館]

④伊達中(114名)：令和3年1月29日(金) 13:40~14:40 [多目的ホール]

⑤桃陵中(121名)：令和3年2月4日(木) 13:40~14:40 [体育館]

⑥梁川中（123名）：令和3年2月9日（火）13:15～14:05 [アリーナ]

○寺田こども支援課長 伊達市の中学2年生は486名。志を立て、大人としての自覚を高めることを目的に立志式を実施する。年度当初は保原体育館において全中学校合同での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から合同による開催を中止し、各中学校において内容を簡素化し実施する。内容は市長からの立志証書の授与、式辞、副会長からの記念品の授与、校長からの励ましの言葉、生徒代表からの誓いの言葉、聖光学院野球部の斎藤智也監督の講演動画の放映を行う。

3 子どもたちの頼もしく豊かな育ちの実現に向けて

(1) 交通安全優良学校賞 [東北管区警察局・東北交通安全協会主催]

○ 梁川小学校

4 各種大会・コンクール等への参加（体位・体力の向上、たくましい心の育成、豊かな人間性・社会性の育成、地域との交流）

(1) 第2回小中学生まちづくり大賞（ふくしまジュニアチャレンジ）

[福島民報社主催]

○ 銀賞：月舘学園中学校

(2) 十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 [県教委主催]

※ 絆部門

○ 優秀賞：水口 麗花（上保原小学校1年）・水口泉太郎（父）

(3) ざぶん賞2020（『水』をテーマにした創作文コンクール）

① 全国表彰

○ ざぶん大賞（全国1位）：小野 蒼真（伊達小4年）

○ ざぶん文化賞：猪狩 結斗（伊達小4年）、佐藤ゆうみ（梁川小6年）

② 県地区表彰

○ 県教育長賞：小野蒼真（伊達小4年）

○ 伊達市教育長賞：大河原千暖（梁川小4年）

③ 特別表彰

○ 玉ざぶん賞：猪狩 結斗（伊達小4年）

(4) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2020 [内閣府主催]

※ 高校生・中学生以下の部

○ 優秀賞：保原高校商業科3年（藤原修太郎、松尾心音、舟山芽生）
「だてな甲冑ニット政宗プロジェクト」

(5) 第45回ゆうちょアイデア貯金箱コンクール [ゆうちょ銀行主催]

※ 全国審査 すてきなデザイン・アイデア賞：秋葉花那（伊達小2年）
テーマ：「コロナに負けるな」

5 1月教育長の部屋

「新しい年を健康に！『早寝・早起き・朝ご飯』」

6 その他

(1) 学校だより、新聞報道等から

(2) その他

○菅野教育長 意見や質問等があればお願いします。

○高野委員 今までは各学校で行っていた適正規模・適正配置の説明会を全体で行うことで様々な意見交換がなされたと思うが、代表的な意見や多数意見、石田・小国小学校の統合についての意見など教えてほしい。

○土田教育総務課長 霊山の新しい教育について説明したが、新しい教育の構想については、検討していただきありがたい。中学校へ入学する時のストレスも減り、スムーズに学習に取り組めるため、小中一貫教育は良いと思う。霊山を学び、発信する構想はとても良いと思う。学習することが増加し、教員、保護者ともに負担が増えるのではないか。石田小学校で取り組んでいる特色ある教育を継続して実施してほしい。などの意見があった。

小国小学校では小規模教育について大変満足をしており、統合を考えることは早いのではという意見もあった。

石田小学校の保護者意見はこれから集約する予定となっている。

○高野委員 月舘とは違う形の一貫教育の説明がなされたわけだが、PTA 代表はどのように受け止めているのか。

○田中教育部長 小国小学校では統合の話はまだ先という意見が出たが、霊山を発信していく取組みも必要と考えているという意見や現在は小規模校で満足しているが、今後児童数が減少することが予想され統合も視野に入れているという意見があった。大規模校にはない小規模校特有の支援を受けることができるため、統合に前向きではないと思われる。小規模校ならではの教育を教育委員会にも支援してもらいたいという意見も出た。しかし様々な意見に触れて自分の意見を再構築することや、新たな考えが生まれるという経験も大切である。適正規模・適正配置は今後も進めていかなければならない。

○高野委員 月舘学園は霊山に先行して小中一貫校を実現したが、今回の懇談会の中で月舘学園の取組みに対する質問はなかったのか。

○田中教育部長 前向きな意見もあったが、月舘学園の二番煎じではないかという意見もあった。月舘学園開校から半年経つが、様々な効果があるため、霊山でも近接型小中一貫校を目指したいと説明した。霊山では各地域に伝統、歴史、文化などが息づいている。霊山神社の瀬觶の舞は大石小学校が統合される

ことで、継承してくれる人がいなくなるのではという意見もあった。そのため掛田小学校でも取り組んでほしいという要望も出された。今後、霊山地域のスクールコミュニティの中でも展開していきたい。2月末を目途に意見集約を依頼したので、その意見をもとに今後の取組みを考えていく。

大石小学校のPTA会長からは、児童数が少なく学校経営、PTA活動が困難であるなどから統合を決断したという説明があった。

○菅野教育長　今回は説明会ではなく懇談会という形でお互いに意見を出しあうことにした。

○田中教育部長　各学校からは、統合後の学校名はどのようにするのか、小国小学校は制服がないが、掛田小学校の制服に合わせなければいけないのか、という質問があった。教育委員会としては2校同時の統合でないと、学校名を変えるタイミングは想定できないと説明した。新しい教育を推進するにあたり、2校同時の統合を実現するために協力願いたいと説明を行った。

○菅野委員　霊山中学校のホームページに霊山の適正規模・適正配置についてというお知らせが載っている。教育委員会からのお便りということで各家庭に配布したと伺った。「校名変更、制服等」については2校同時統合であれば、保護者・学校・地域の皆さんの代表者で組織する設立準備委員会等での検討を考えています。現時点では、2校同時でなければ、校名等の検討は困難と考えますと記されています。

掛田小学校は基幹校であるため校名、制服、校歌は変わらず、そのことを踏まえたうえで大石小学校は統合を行った。しかし小国・石田小学校は2校同時統合であれば校名変更、制服等も検討すると読み取れるがどのように解釈すれば良いか。

○田中教育部長　各学校での説明会の際に、掛田小学校名の変更要望があったため、2校同時であれば保護者、教員、地域住民の代表者による検討を行いたいと回答した。各小学校で統合の時期が異なる場合、校名変更は困難であると説明した。

○菅野委員　掛田地区の住民は掛田小学校に他の学校の子ども達を歓迎しようと話し合っている中、校名、制服、校歌変更の話があり、いかがなものかという意見があった。

○高野委員 解決案として月舘とは異なる内容、異なる小中一貫校を目指すということを全面的に押し出すべき。小中一貫校の新しい魅力を打ち出し、全ての学校が統合した後に校名、制服変更を検討すべきと考える。

○菅野委員 石田・小国小学校の方々が校名にこだわっていないのではないかと思う。しかし掛田小学校の学区の方は校名を変更はしたくないと思っている。

○菅野教育長 掛田地区の住民が地域に対する思いや受け止め方は理解できるが、今回の懇談会の中で掛田小の方が校名にはこだわりを持っていないという意見もあった。地域代表や学校代表に参集していただき、校名変更を実施するのか、しないのかも含め、2校同時統合であれば小中一貫校準備の際に意見を出し合い、方針を検討したい。

○田中教育部長 現時点では、2校同時でなければ校名等の検討は困難と考えている。

○菅野教育長 他に意見があればお願いします。

○菅野委員 成人式が延期になったが、今後どのような状況になれば実施可能なのか、また実施する場合は早めの周知をお願いしたい。

○菅野教育長 市長と話し合いを行ったが、全国でワクチン接種の見通しがついた時点の現状を踏まえたうえで検討したいと思う。出来る限り早めにお知らせをしたい。

次に（2）各教育委員の皆様からの報告に移ります

○高野委員 霊山は月舘学園のふるさと学習とは違った学校運営を考えている場合の参考になればと思い、只見町の例を紹介する。只見町においても人口減少は進んでおり、地域、学校全体で人口現象の問題を考えなくてはならないという危機感を持っている。その際に大きな枠の中で捉え、将来の只見町をどのようにしていきたいのかを考えることが必要と考えている。児童生徒にどのような意識を持ち、成長したいかというビジョンがあり、ユネスコスクールやユネスコエコパークに加盟させ、只見町という南会津の限定した町にとどまらず、広い裾野を持ち、只見町を考えている。学校教育で子ども達に知恵を出してもらいたいという趣旨で始まっている。各学校で1年ごとに公開授業を行いながら、東京大学付属海洋教育センターの指導ももらいながら、ユネスコスクール

の推進委員からのアドバイスをもらいながら、大きな枠組みで町づくり、人づくり、学校づくりを行っている。この発想を月舘、霊山、その他も含め、1つの限られた地域ではなく、外の世界とも関わりながらふるさと学習を行う事が必要であるとする。毎年約200の教育実践が報告され、審査も行っているが、只見町の教育実践が印象に残り、取材もしてきた。教育長との面談、授業の様子などを見てきた。只見町という自然に恵まれたところだが、閉じこもらず外へ出ようとしており、町をあげて学校を支援しようとしていた。月舘や霊山、他の地域の発展に役立ててほしい。

○菅野教育長 意見や質問等があればお願いします。
なければ次に（3）各課からの報告に移ります。

○熊澤学校教育課長 年末年始にかけ、コロナウイルス感染拡大傾向にある。学校教育課として通知をした。

①12月22日から1月7日までの間は感染リスクの高い学習活動は感染防止対策を施し、短時間で行うこと。②部活動は実施しないこと。ただし県大会以上の大会を控えている場合は可とする。

1月6日に1月8日以降の対応について各学校へ示したことは、①感染リスクの高い学習活動は慎重に行うこと。②部活動は感染防止対策を行い、実施可とする。ただし1月中は合同練習、練習試合は控える。

1月12日に福島県教育委員会から、県内の感染状況がステージ3となり、文部科学省が定めている学校の行動基準をレベル1からレベル2に変更し、対応するよう市町村に指示があった。そのため改めて1月13日から2月7日までは感染リスクの高い学習活動は停止することを学校へ通知する予定。感染リスクの高い学習活動とは、①児童生徒が長時間近距離及び対面形式でグループワークを行うこと、近距離で合唱、リコーダー演奏をすること、近距離での共同制作、近距離で行う調理実習など。②部活動は感染リスクの高いものを除き実施。練習試合や合同練習は停止。③宿泊を伴う学校行事、合宿、遠征は停止。県大会以上の大会は宿泊可とする。④各校における感染症対策についてチェックリストで確認し、対策を徹底する。⑤健康観察の徹底。⑥給食時の対応や食後の歓談時はマスク着用や換気の徹底。⑦差別、偏見、中傷の防止、児童生徒同士の会食やマスクを外しての会話の行動自粛。⑧不要不急の外出や外泊の自粛など。

今年度の卒業証書授与式と令和3年度入学式については、市長部局からの参加は見送り、祝辞は文書のみとし、来賓はPTA会長のみ。教育委員会は卒業証書授与式に参加し、告辞を述べるが入学式への参加は見送る。各校の実状に応じ、

式の短縮や感染防止対策を実施することとしている。

2つ目は2月10日の表彰式について。伊達市教職員表彰は13時30分から14時30分まで、伊達市教職員論文表彰式は14時40分から行う。

○**田中教育部長** コロナウイルス感染拡大防止のため、市役所では1月8日から本庁舎と梁川庁舎での分散業務を行っている。期間は感染状況をみて判断される。

○**菅野教育長** 意見や質問等があればお願いします。

○**高野委員** 卒業式と入学式について教育委員は来賓、主催者どちらに該当するのか。名簿を見ると来賓に教育委員が載っている。教育委員は卒業式、入学式の主催者であり、来賓ではないと個人的に考えている。入学式に教育委員が出席せず、来賓と同様の扱いでよいのか。

○**三品委員** 成人式も主催者として参加している。来賓ではなく、主催者ではないかと思う。

○**菅野委員** 成人式は主催者として挨拶する。卒業式、入学式も主催者であると思う。

○**菅野教育長** 学校の設置者は伊達市である。サービス管理を行うことが教育委員会の役割。学校運営を主体的に決める権限を現場である学校に置いている傾向がある。このように考えると卒業式、入学式の主体は学校にある。卒業式では教育委員会として告辞を行っている。入学式は学校長が入学を確認する式となっている。入学式では来賓とも異なる扱いになると思う。

○**高野委員** 入学式は校長が単独で入学を許可するわけではなく、背後には教育委員会があり、その意を受け校長が許可するものと考え。その場に立ち会い入学や卒業を見届けるために教育長や教育委員がいると思う。そのため来賓ではないと考える。

○**菅野教育長** 今後根拠を示せるようにまとめていく。
他に質問や意見がある方はお願いします。

○**三品委員** 本市ではコロナウイルス感染が発生した場合、学校閉鎖などのガ

イドラインはあるのか。また文部科学省から通知などは来ているのか。

○熊澤学校教育課長 文部科学省から令和2年12月3日付けで学校の新しい生活様式というガイドラインが示された。感染者、濃厚接触者が発生した場合は、保健所や市の保健部局と連絡を取り合い、指導を受け消毒範囲や休業について決定してほしいとあった。

○三品委員 各地方自治体に対応は任せられていると捉えることが出来る。本市としての判断基準はあるのか。

○熊澤学校教育課長 例として平日に児童生徒が感染したとする。その子は学校に毎日通っていた。保健所ではその子がどのような動きをし、誰と接触したか調べる必要がある。そのため1～3日間の休業を行うというガイドラインになっている。その間、保健所と連絡を取り、濃厚接触者の特定や消毒範囲を決めていく。

○三品委員 同学校で立て続けに感染者が出た場合、休業が長期化するが教育をどのようにして継続していくのか。

○熊澤学校教育課長 今年度はeライブラリーアドバンスを使用できるネット環境が整っている家庭では、端末を使用し学習を行ってもらおう。使用できない場合は教員が学習プリントを印刷し配布を行う。また可能であれば学校のパソコン室を開放し、eライブラリーアドバンスを使って学習を行う。来年度からは1人1台のタブレット端末が準備できるため、休業になった際は出来る限りオンライン学習を行う予定。

○菅野教育長 コロナウイルスが広まり始める当初は、感染者が1人出た場合は学級、学年、学校単位で臨時休業や出席停止の措置がとられていた。しかし現在は保健所と連携を取り、感染状況、濃厚接触者の状況を見ながら臨時休業は可能な限り避けるようになっている。学業の妨げとならない様に個別の対応をしていく。

○高野委員 クラスター感染を起こさないということが大切である。感染が発生した際は子どもがどのような行動をし、誰と関わったかを調べることは容易ではない。初期対応が重要になってくる。

○菅野教育長 家庭での変化があった際、情報を学校に出してもらっている。家族が濃厚接触者となった際に学校へ連絡が入り、兄弟のいる学校へも連絡を取り合うことが出来ており、良い関係が築けている。保健所、本市のコロナウイルス対策本部には様々な情報で支援をしてもらっている。

○三品委員 感染者の名前は伏せるようになっている。偏見や差別がないようにしてほしいと思う。

○熊澤学校教育課長 学校が再開してからは校長会等で道徳の中で誹謗中傷、いじめはしないように授業で指導してほしいと伝えてある。担任からも繰り返し指導をしてもらっている。

○菅野教育長 他に意見や質問はありますか。

次に（４）その他に移ります。

教育委員会行事報告・予定表について、教育総務課長お願いします。

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 他に報告はありますか。

○菅野教育長 次回の日程について事務局から説明願います。

○土田教育総務課長 次回の定例教育委員会会議

日時 令和3年2月17日（水）13時30分～

会場 庁議室

○菅野教育長 本日の1月定例教育委員会会議は、15時16分で終了します。

15. 日程9 閉 会 15時16分

上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

令和3年1月13日

議事録署名人

1 番委員

2 番委員

議事録調製者 教育総務課総務企画係主事 大橋 勝